

県立広島病院広報誌

# もみじ

第3号発行 2004.6



〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号  
TEL(082)254-1818(代) FAX(082)253-8274  
ホームページ <http://hph.pref.hiroshima.jp/>

(財)日本医療機能評価機構認定病院  
認定第JC175号一般病院

## 新院長挨拶



大濱 紘三

土肥雪彦前院長の後任として県立広島病院長に就任いたしました。

県立広島病院は100年を越す伝統を有し、多くの先輩達の努力によって現在のよう優れた医療を提供する病院に成長しています。今後は院長としての重大な責務を自覚し、時代の変化に対応した病院運営をして参りたいと思っておりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

昨今の医療機関は設立理念を明確にし、その理念に沿った運営の基本方針を立てることが求められており、県立広島病院ではここに示したものを公表し、職員はもちろん患者様や医療連携機関の関係者の皆様にもご理解をいただいているところです。医療のあり方はこの数年大きな変貌を見せており、医療を提供する側と受ける側との共同作業的な概念が基本に置かれるようになり、医療提供側も多職種のスタッフの有機的な連携が不可欠となっています。医療機関は非常に多くの専門職種から成っており、各職種毎の専門性を認め合う一方で、多様な職種を包含することによって、初めて医療としての形ができあがるという特徴があります。また、医学・医療の急速な発展を受けて、いくつかの医療機関が協力しなければ目的を達成することが出来ない医療もあります。

県立広島病院には、広島県の基幹病院として政策医療や高度医療を展開する使命に加え、地域の住民に密

## 理念・基本方針

### 理念

県民の皆様へ愛され信頼される病院をめざします

### 基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実向上に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

着した医療を実践する機能も付与されています。そのため、院内には救命救急、母子総合医療、腎臓総合医療、健康推進、地域医療支援の5つのセンターの他に、20の診療科、755病床を保有してそれに対応しています。また、病院の機能を十二分に活かすためには、地域の医療機関との医療連携を密にすることが大切であり、救急の患者さんや専門医療を要する患者さんの受入を積極的に行う一方で、地域医療関係者との共同研修会などを通して地域医療のレベルアップを図っています。さらに今年度、当院では病院機能評価の認定を受けました。

医療の基本は患者さんを苦しめている症状を軽減し、その原因になっている病気を治すことにありますが、その過程においては、単に身体的な治療のみならず精神・心理面のケアも重要であることを、職員一同は十分認識して日常の医療に当たっています。また、安全・安心な医療の根幹であり、「県立広島病院は医療事故ゼロ、親切で優しく、心身共に癒され、最先端技術を習得した医療スタッフによって、どのような病気にも対応して貰える病院である。」とだけ言っただけのよう日夜精進しています。県立広島病院も相次ぐ医療制度の改革への対応、急性期病院の基準クリアー、病院財政の健全化、優れた医療人の養成、先端医療の開発導入など、焦眉の課題が山積しています。皆様のご支援を得て、一つずつ克服して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 先進医療の専門外来

### 女性専用外来

精神神経科 大田垣 洋子

2003年4月から当院に女性専用外来が開設されました。女性医師が女性の患者様を診察するというもので、広島県内では初めての試みです。

女性専用外来では、毎週木曜日の午後1時から5時まで診察を行っています。隔週で婦人科医と精神科医が担当し、原則として初診患者様のための完全予約制です。

当院の方針としては、「対象者は女性で症状は問わない」「1人30分、完全予約制」ですが、女性専用外来での診察は1回のみで、以後の診察や治療を希望される場合には、患者様のご希望を伺い、院内の診療科を紹介予約としたり、院外の病院や診療所をご紹介します。

どんな症状でも、相談・治療の窓口として当院の女性専用外来をご利用下さい。

予約受付／月曜日～金曜日の午前中

予約専用電話 **082-252-8341**

女性医師による  
女性のための  
専門外来



### 肝臓外来

消化器内科 医長 北本 幹也

急性・慢性の各種肝臓病全般に対して対応可能です。常に最新の考え方で診察しており、患者様個々の病態に応じたオーダーメイド的治療方針を提示しています。肝臓病は無症状で次第に進行していくことが知られ、ウイルス肝炎であれば、肝癌合併危険を伴うことが多いので、抗ウイルス治療を行いつつ、画像診断による反復検査が必要と考えられています。

本肝臓外来においては、初診時に進行を遅らせるための治療法の提示・生活指導などを行って

ます。抗ウイルス治療を受けない患者様の、画像診断を主体とする定期的再診を承ります。現在、すでに他の医療機関に通院中の患者様も、最新の情報提供や画像診断による反復検査のために受診されることをお勧めいたします。

火・木曜日の午前中が肝臓外来で、他の医療機関に通院中の患者様で、可能なら過去の検査データや紹介状を持参していただければ、有意義な診療が可能です。

診察日／毎週火・木午前中（再診から予約制）

## 看護部の理念について

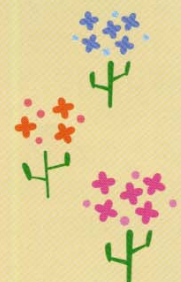
看護部の理念は、病院の理念である「"県民の皆様に愛され、信頼される病院を目指す"チームの一員として、暖かい心で質の高い看護を提供する」こととしています。最新の医療を行っても、病気の回復が望めない場合でも、看護は、暖かな心と笑顔とやさしい言葉で、一時的にでも患者の苦痛を和らげることができます。

次に、理念を実現させるために、

- ①患者様の権利を尊重し、ニーズに応じた看護を提供します。
- ②安全な看護を提供し、医療事故ゼロをめざします。
- ③継続教育の充実を図り、看護の質の向上に努めます。
- ④地域との連携を図り、継続看護を推進します。
- ⑤チームの一員として、健全な病院経営に取り組みます。

という5つの方針を挙げ、委員会活動で実現化を図っています。

看護部の方針、目標達成のために、各部署で年間の目標を掲げて実行しています。

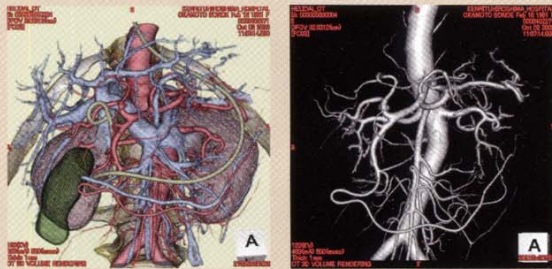


## 最先端の高度医療機器

### ● 16列マルチスライスCT ●

放射線科部長 木村 昭二郎

昨年9月から稼働しているCT装置は、市販されている装置の中で最高の機能を備えています。1回のスキャンで16スライス（16枚）の画像を得ることができます。スライスの厚さは最小0.5mmで、最大スライス幅は2mmです。これより厚いスライスの画像は、いったん2mm以下の薄いスライス像を作成し、改めて加算により作り出します。この最新鋭のCTにより、図のようなほぼ完全な人体の三次元立体画像が得られます。

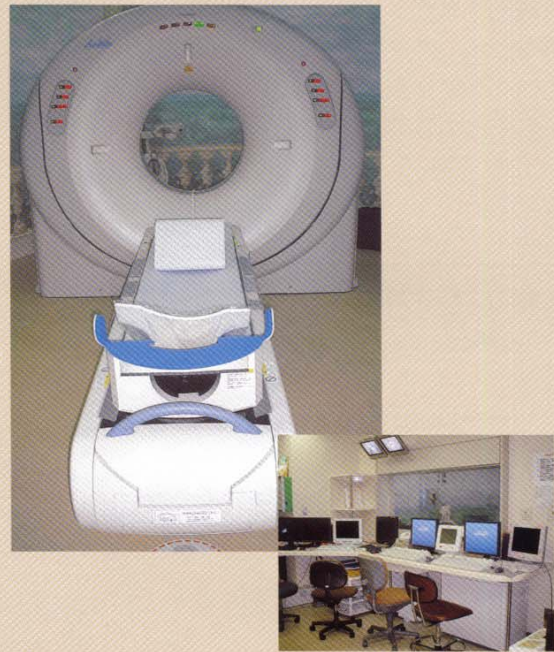


臨床的メリットとして、高速度で、これまでになかった多断面のCT画像が得られます。胸部では5～6秒のスキャンで全肺野を、胸部から骨盤腔までは12～13秒でスキャンが終了します。

さらに、横断像のみでなく矢状断、冠状断、立体画像が得られ、図のように詳細な立体画像や血管造影像が得られます。腫瘍の立体的構築や手術のシミュレーションに役立っています。また、肺

ガン検診や、冠動脈疾患のハイリスク患者のスクリーニング等に役立つと思われます。

今後、最先端のマルチスライスCTの導入に伴い、1日の対応検査数を増加させ、待ち時間の大幅な時間短縮に努めていきます。病診連携の推進、紹介率の増加の為に外来検査を大幅に増加し、診断の向上に努めたいと思っています。



## 病院機能評価の認定を受けました

当院は、平成16年4月19日付で、財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定（病院種別「一般病院」）を受けました。

病院機能評価とは、（財）日本医療機能評価機構による第三者評価で、病院の現状と問題点を明確にし、改善の成果の認められる病院に認定証が発行されるものです。

（財）日本医療機能評価機構とは、医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関です。

今後とも、よりよい医療の提供に向けて、更な

る取組みを進めて参ります。



# 緩和ケア支援センター

平成15年春から建設工事中だった緩和ケア支援センターは、平成16年9月1日の開設に向けて最終準備を行っています。

3階にできる緩和ケア病棟は20床のすべてが個室で、患者様とご家族が、できるだけ時間を一緒に過ごせるように配慮してあります。

2階には、緩和ケアに関連した情報収集室（図書室）や研修室などを設置し、国内外の先進的な情報だけでなく、地域資源を有効活用するための情報の収集や提供を行います。また、緩和ケアを担う医療関係者や学生・ボランティアといった人材の育成を図るとともに、緩和ケアに関する県民への啓発活動も実施していきます。

在宅ケアを支援するための外来診察室や、国内で初めての本格的な取組みとなるデイホスピスのための部屋、音楽治療室、地域連携室なども整備されています。

緩和ケア支援センターでは、痛みをはじめとする症状の緩和を積極的に行い、地域医療機関との連携を図りながら、外来診療機能やデイホスピスを利用して、患者様ができるだけ自宅で過ごせるように支援を行っていく予定です。

広島市中心部という利便性の良さを生かしながら、地域に密着したセンターの運用を心がけたいと思っています。緩和ケアに関する相談などがありましたら、遠慮なく下記までお電話ください。

緩和ケア支援センター（直通）082-525-6262

## ご意見ありがとうございます。

### ご意見の概要

デイルームに設置されている給水器を使用するとき、水や湯に混ざって小さなごみが出てくるあれは何でしょうか。

### 対応状況

お茶、水のところから給水すると黒い粉が出てきます。各病棟のデイルームには、お茶が出る給湯器が設置してあります。しかし、使用しているお茶葉が、茶こしより小さなものがあり、ゴミのように見えることから、ご意見のような質問となったと思われます。お茶の葉ですから、飲用されても害はありません。ご了承ください。

### ご意見の概要

私は通院でお世話になっておりますが、足腰が悪くどうしても洋式便所しか利用できません。便座に腰をかける時、みんなで使うものですから大変だと思いますが、洋式便座にトイレトイレットペーパーで使える便座クリーナーを設置していただけないでしょうか。

### 対応状況

設置について検討した結果、クリーナーなどの液体は人によっては炎症を起す場合があります。そこで少し使い勝手は悪いかもしれませんが、便座シートにして各洋式便所に設置しましたのでご利用ください。

### ご意見の概要

中央棟1階の障害者用トイレに、介助用の椅子（折りたたみでもよいので）があると介助の人も楽なのですが。

### 対応状況

介助者用に、折りたたみ椅子を設置しました。

## 紹介状持参のお願い

初診で来院される際には、必ず「紹介状」をご持参いただきますようお願いいたします。

・当院では、お近くのかかりつけ医の先生と連携し、専門的な検査や入院治療を行い皆様のお役に立ちたいと考えております。

「紹介状」は、かかりつけ医と当院とを連携するものです。

事前にかかりつけ医からFAXによって診療予約をすることができます。

・紹介患者専用の受付を設置しております。お問い合わせ：地域連携科（病診連携担当）TEL (082) 252-6241 FAX (082) 252-6240

## 診療科案内

総合診療科  
消化器内科  
呼吸器内科  
内視鏡科  
内分泌・腎臓内科  
循環器内科  
神経内科  
精神神経科

一般外科  
心臓血管外科  
胸部外科  
整形外科  
脳神経外科  
皮膚科  
泌尿器科  
眼科  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
小児科  
小児外科

産科  
婦人科  
新生児科  
歯科  
リハビリテーション科  
放射線科  
麻酔集中治療科  
（ペインクリニック）  
緩和ケア科  
透析・腎臓外科  
救命救急治療科  
人間ドック

## 外来診療受付時間

午前8時30分～午前11時00分

※午後の診療は各科によって異なります。受付でおたずねください。

## 休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12/29～1/3）



お願い：駐車場は午前中大変混み合います。できるだけ公共交通機関を利用してください。